

社会福祉法人 杏の郷

法人本部・障害者支援施設 顕真学院・グループホーム蓮華寮

## 令和4年度事業報告書

令和 5年 4月 1日

### I. 法人本部

#### 1. 理事会・評議員会・関係会議

日時	会議名	議題内容
令和4年 5月27日	第一回 法人理事会	(1)令和3年度 事業報告 (2)令和3年度 会計決算・監事監査報告 (3)就業規則一部変更について (4)定時評議員会の開催について
令和4年 6月15日	定時評議員会	(1)令和3年度 事業報告 (2)令和3年度 会計決算・監事監査報告
令和4年10月28日	第二回 法人理事会	(1)給与規程の一部変更について (2)令和4年度 第一次補正予算(案) (3)報告事項 ・ 理事長の職務執行状況報告 ・ 新型コロナウイルス感染症の発生について ・ 施設指導監査結果 ・ 個人情報保護規程について
令和5年 3月23日	第三回 法人理事会	(1)令和4年度 第二次補正予算(案) (2)令和5年度 事業計画(案) (3)令和5年度 予算(案) (4)施設長・事務長の選任について (5)運営規程の一部変更について (6)報告事項 ・ 理事長の職務執行状況報告 ・ 新人職員紹介

#### 2. その他経過報告

なし

## II. 施設利用状況 【令和5年3月31日現在】

### 1. 入所利用者数

[単位：人]

#### 施設入所支援 顕真学院

区分	定員	現員
男	15	15
女	15	15
計	30	30

#### グループホーム 蓮華寮

区分	定員	現員
女	5	4
計	5	4

・令和4年8月1日より男性利用者1名が顕真学院に入所となりました。

### 2. 日中活動利用者数

#### 生活介護

定員	区分	現員
40	男	15
	女	24
	計	39

・令和4年11月10日より女性利用者1名が日中生活介護の利用を開始しました。

### 3. 障害程度区分

[単位：人]

#### a. 顕真学院（施設入所支援）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
利用者数	0	0	0	0	5	25	30

#### b. 顕真学院（生活介護）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
利用者数	0	0	0	1	9	29	39

#### c. グループホーム 蓮華寮

区分	1	2	3	4	5	6	合計
利用者数	0	0	0	0	3	1	4

### 4. 性別・年齢別区分

#### a. 顕真学院（施設入所支援）

区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～65	合計	平均年齢
男	0	2	1	7	5	15	44.7
女	0	0	1	10	4	15	47.7
合計	0	2	2	17	9	30	46.2

b. 顕真学院（生活介護）

区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～65	合 計	平均年齢
男	0	2	1	7	5	15	44.7
女	0	2	2	15	5	24	45.7
合計	0	4	3	22	10	39	45.3

c. グループホーム蓮華寮

区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～65	合 計	平均年齢
女	0	0	0	3	1	4	52.0

5. 短期入所利用者数（年間延べ人数）

[単位：人]

月別	区 分	利 用 数	月別	区 分	利 用 数	月別	区 分	利 用 数
4	宿泊	30	8	宿泊	0	12	宿泊	0
5	宿泊	31	9	宿泊	0	1	宿泊	0
6	宿泊	30	10	宿泊	0	2	宿泊	0
7	宿泊	31	11	宿泊	0	3	宿泊	0
						合 計	122（前年比-248）	

・短期入所を利用していた方が8月に入所となった関係で、以降の利用が無かったため。

6. タイムケア利用者（年間延べ時間）

[単位：時間]

月別	単 位	延べ時間	月別	単 位	延べ時間	月別	単 位	延べ時間
4	時間	0	8	時間	0	12	時間	0
5	時間	0	9	時間	0	1	時間	0
6	時間	0	10	時間	0	2	時間	0
7	時間	0	11	時間	0	3	時間	0
						合 計	0（前年比-143）	

・利用希望者がいなかったことや、前年まで利用していた方が入所移行となったため。

### Ⅲ. 職 員 数

a. 顕真学院

[単位：人]

区分	施設長	事務	サービス 管理責任者	支 援 員	看護師	栄養士	調理員	洗濯	合 計
男	1	1	1	5					8
女		2		8 [1] (4)	1	1	3(1)	(2)	16(7)
合計	1	3	1	14 (4)	1	1	3(1)	(2)	24(7)

※ [] 内は兼務 () 内は非常勤

・令和5年3月31日付けで支援員1名が退職となりました。

b. 蓮華寮

[単位：人]

区分	管理者	サービス 管理責任者	支 援 員	世話人	合 計
女	1[1]	1	(1)	1	3
合計	1[1]	1	(1)	1	3

※ [] 内は顕真学院と兼務 () 内はサービス管理責任者と兼務

## IV. 利用者支援について

### 1. 生活介護(平均障害程度区分 5.7) 日中活動について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各グループレクリエーションは中止しています。  
また、新型コロナウイルス感染症の施設内発生により、令和4年9月5日～10月2日まで通所利用者の受け入れを停止しました。

#### ①「おひさま(最重度・重症心身障害)」グループ

常時健康面に配慮が必要で、介助、介護、保護、医療との連携が中心になっており、『個別に合わせた活動の提供』という目標を掲げ活動を行っています。個人の状況によってどんな取り組みが必要なのか検討し、身体機能低下の緩和を目的としたリハビリ、ストレッチ、下肢のむくみを緩和させるための足浴やリンパマッサージ、歩行機能維持のための歩行運動を実施しています。

利用者が楽しめる活動として、誕生日会や栄養士と協力しグループでの昼食作りを実施。清潔面にも配慮し、入所者や希望する通所者にも特殊浴槽を使用した入浴を行いました。

#### ②「ひまわり(重度・一部中度障害)」グループ

活動拠点を明照ホールとし、活動場所と生活する場を分けることで生活リズムと心の安定を図っています。具体的な活動内容ですが、散歩を中心にカレンダーや布切れを利用したぞうきん作り、行事で使用する装飾の作成などをし、個別の活動では各利用者の興味があることを取り入れて活動をしました。作業班では野菜の栽培、収穫を行っています。

年齢を重ねていく中で、利用者の情緒面や身体機能の変化が目立ってきています。これまでのグループ分けでは一人一人に合った取り組みが困難である為、次年度に向け個人の状態にあった必要な取り組みを考え、提供していきたいと思えます。

### 2. 施設入所支援(平均障害程度区分 5.8) 生活部の活動について

引き続き利用者一人一人の個性性に重きを置き、各担当職員と協力しながら今の生活上での問題点や改善点を話し合い、今後考えられる疾病や機能低下を事前に予測し準備が出来るようにしています。利用者一人に対し、担当職員を軸に医務や栄養士、そして生活部が様々なポイントからアプローチできるよう連携し、このチーム体制を利用者の生活を支援するベースとして今後も取り組んでいきます。

環境衛生に関しても施設の外部・内部共に生活する空間をより良くするため、年間計画を立て気候等の状況も見ながら整備を実施しています。

今後は新型コロナウイルスへの対応が緩和していく傾向であるため、学院外での過ごしも楽しめるよう利用者の心身の健康を第一に支援を行っていきます。

### 3. 年間行事について

月 日	行事内容	場所	参加者数
令和 4年 4月 8日(金)	お花見行事	生活棟・中庭・ものぐさ棟	利用者36名
令和 4年 4月 29日(金)	バーベキュー	中庭・各食堂	利用者34名
令和 4年 7月 14日(木)	ひまわりグループ 学院内行事	中庭	利用者23名

令和 4 年 8 月 5 日(金)	学院内夏祭り	中庭・各食堂	利用者 36 名
令和 4 年 12 月 14 日(水)	年末感謝祭	明照ホール	利用者 38 名
令和 4 年 12 月 21 日(水)	忘年会	生活棟・ものぐさ棟	利用者 30 名
令和 5 年 1 月 13 日(金)	新年会	明照ホール	利用者 36 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためレクリエーションなど外出を伴う行事は中止となり、上記学院内行事に関しても規模を縮小した形で実施しました。

#### 4. 保 健

①令和 4 年度 年間計画（年間を通し、新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。）

月	検診・その他学院内業務
R.4 4 月	血圧・体重測定, 保険証の確認 胸部レントゲン (4/14)
5 月	内科検診, 血圧・体重測定、風呂水質検査, 血液・尿・心電図・大腸がん検診 (5/19)
6 月	血圧・体重測定, 食中毒予防対策 (手洗い・消毒の徹底)
7 月	内科検診, 血圧・体重測定, 熱中症予防月間 (~9 月),
8 月	血圧・体重測定,
9 月	内科検診, 血圧・体重測定
10 月	血圧・体重測定, 感冒予防対策 (~2 月)
11 月	インフルエンザ予防接種 (11/4), 血圧・体重測定, 新型コロナワクチン接種 (11/14、11/21) インフルエンザ予防対策 (~2 月), 水質検査,
12 月	血圧・体重測定, 検診・通院報告書整理, 夜勤従事者採血 (12/16), 歯科大検診(12/20), ノロウイルス対策 (~4 月)
R.5 1 月	内科検診, 血圧・体重測定
2 月	血圧・体重測定, 次年度生活習慣病検診計画策定, 次年度年間計画策定, 婦人科健診 (2/17)
3 月	血圧・体重測定, 内科検診, 年間通院報告, 次年度医務計画策定, 保健記録作成

・令和 4 年 9 月 3 日(土)より新型コロナウイルス感染症が施設内にて発生しました。利用者については、保健所より指示を受け別棟にて隔離し療養を行っています。全ての陽性者の療養期間が 10 月 1 日(土)に終了し、収束となりました。

②受診回数 ※神経内科は近況報告も含む

[単位：回]

神経内科	286	整形外科	2	歯科	86	脳神経外科	5
血液内科	6	リハビリ	95	耳鼻科	10	乳腺外来	6
精神科	22	リハビリ診察	31	消化器内科	6	甲状腺外来	4
内科	48	外科	23	循環器科	3	腎臓内科	0
眼科	3	皮膚科	3	婦人科	8	泌尿器科	0

#### 5. 調 理（年間行事食）

月	内 容
R.4 4 月	お花見行事⇒焼き肉・おにぎり・焼き鳥・ウインナー・野菜炒め・筍汁・ジュース バーベキュー⇒焼き肉・焼き鳥・ウインナー・焼き野菜・椎茸・お味噌汁・おにぎり・ジュース

5月	端午の節句⇒たけのこ御飯・すまし汁・柏餅 おやつ作り⇒ホットケーキ
6月	昼食作り⇒ピザトースト・サンドイッチ・シチュー おやつ作り⇒お好み焼き・ニラせんべい
7月	学院内行事⇒夏野菜ハンバーグカレー・サラダ・トウモロコシ・スイカ（利用者で作る） おやつ作り⇒パフェ お楽しみ喫茶⇒アイス2種から選択
8月	夏祭り⇒ミニ飾りうどん（タレ3種より選択）、ミニお好み焼き・チヂミ・焼き鳥、 フランクフルト・ジュース・かき氷
9月	—
10月	おやつ作り⇒ホットケーキ お楽しみ献立⇒とんかつと握り寿司の2種より選択・和え物・すまし汁・デザート
11月	—
12月	年末感謝祭⇒ご飯・フライドチキン・ビーフシチュー・サラダ・ジュース・ 忘年会⇒握り寿司・カレー風味天ぷら・からあげ2種・エビチリ・ポトフ・ふるふき大根・ 白菜漬け・ゼリー・ジュース
R.5 1月	お正月⇒おせち料理 七草⇒七草粥 新年会⇒小豆御飯・折り詰め料理・すまし汁・ジュース おやつ作り⇒チヂミ 昼食作り⇒鶏つくね鍋
2月	お楽しみ喫茶⇒ケーキ2種・飲み物各3種より選択（バレンタインデー） 節分⇒恵方巻（太巻き） おやつ作り⇒チョコレート風味ホットケーキ 昼食作り⇒鶏つくね鍋
3月	ひな祭り⇒ちらし寿司・すまし汁・和え物・デザート・桜餅・甘酒 お楽しみ献立⇒カレー（エビ・ハンバーグ・とんかつの3種より選択）・デザート おやつ作り⇒おはぎ（お彼岸）

## 6. 防 災

月別	内 容
R.4 4月	学院内自衛消防組織・各非常事態時の役割分担などの変更及び避難体制見直し 各災害に対する知識や計画の確認・職員への周知徹底（4月19日 支援員会議）
5月	防火設備の自主点検 洪水・土砂災害時の緊急連絡網（手動）の試行
6月	集中豪雨および水害等に対する注意 学院内総合防災避難訓練の実施（6月17日）
7月	火気における取り扱い注意と後始末における注意 防火・防災器具の点検 防火設備の自主点検 蓮華寮夜間防災訓練（7月27日）
8月	花火の取り扱いおよび後始末に関する注意 台風災害における注意 各防災計画の再確認（8月9日 職員全体会議）
9月	防災設備機能の点検 総合防災訓練について地域との打ち合わせ（9月下旬⇒中止）
10月	夜間総合防災訓練の実施（10月6日⇒中止） 緊急連絡網（自動通報装置）の試行 避難体制の見直し・職員の役割の確認
11月	防災設備の自主点検 秋の全国火災予防運動 防災指導 蓮華寮日中防災訓練（11月11日）
12月	暖房器具の点検と取扱いにおける注意点指導（12月26日職員全体会議） 防火設備器具の清掃と点検

R.5 1 月	防災における意識向上のための指導 防災設備の自主点検
2 月	防災対策の見直し（2月6日支援員会議） 防災設備の自主点検
3 月	春の全国火災予防運動実施 新年度防災計画の立案（3月3日支援員会議）

## 7. 支援関係会議

月	内 容
R.4 4 月	音楽会実行委員会（4日,21日）生活部会議（7日）行事係会議（11日） 支援員会議（19日）虐待防止委員会（26日）調理会議（27日）
5 月	行事係会議（2日）生活部会議（10日）活動部会議（19日） ケア会議（23日,26日,29日）
6 月	生活部会議（3日,30日）行事係会議（6日）支援員会議（9日）身体拘束委員会（9日） ケア会議（13日,17日,27日,28日）活動部会議（21日）調理会議（28日）
7 月	食生活委員会（4日）行事係会議（6日,14日,21日）ケア会議（17日,26日） 生活部会議（20日）虐待防止委員会（26日）リーダー会議（29日）
8 月	活動部会議（6日）職員全体会議（9日）ケア会議（15日）生活部会議（29日）
9 月	行事係会議（2日）
10月	活動部会議（6日）生活部会議（7日）
11月	食生活委員会（2日）支援員会議（9日）行事係会議（9日）
12月	調理会議（2日）行事係会議（2日）生活部会議（5日）活動部会議（8日） 身体拘束委員会（12日）リーダー会議（16日）関係者会議（16日） 職員全体会議（26日）ケア会議（26日,27日）
R.5 1 月	ケア会議（13日,25日）行事係会議（18日）感染症対策会議（25日） 食生活委員会（26日）虐待防止委員会（27日）
2 月	支援員会議（2日）リーダー会議（2日）個別支援会議（13日）ケア会議（20日,28日） 生活部会議（21日）調理会議（24日）
3 月	支援員会議（3日）行事係会議（6日）生活部会議（8日,27日）リーダー会議（14日） 職員全体会議（17日）ケア会議（22日）活動部会議（28日）

## 8. 事故報告関係

場 所	内 容	事故後の対応
頭真学院	夕食時に服用する薬が、管理しているケースの中に残っていた。担当職員に確認を行い、内服させていない事が判明した。	ダブルチェック体制で準備・内服を行っているが、職員間の確認が不十分であったことが原因である。 内服薬の取扱いについて、再度確認を行った。
居室	発作になった利用者に対し、2回坐薬を使用したが発止まらなかったため、3回目の坐薬を使用してしまった。	発作時の対応を他の職員に相談しなかったことや、坐薬について認識不足があったのではないかと話し合った。 職員会議でも議題にあげ、緊急時の対応について再確認を行っている。
デイルーム	デイルームから廊下に出た際に、置いてあったサンダルを踏んでバランスを崩し前のめりに転倒してしまう。	転倒した際に打ち付け鼻血が出てしまったがすぐに止血し、他に怪我がないか確認。 デイルームと廊下の堺に他の利用者が脱いだサンダルが置いてある状態がみられるので、普段から足元の整理整頓をしておくようにする。

小食堂	排便なし1日目と夜勤者に引き継ぐところを2日目と引き継いでしまい、下剤の内服をさせてしまった。	記録を付けている際に夜勤者が1日目であることに気が付いた。看護師に連絡し、様子を見て翌日も排便が出なければ翌々日に下剤の内服をするように指示を受けた。引き継ぎを双方で確認し合うことが必要である。
居室	朝方怒鳴り声が聞こえ居室へ向かうと、上半身裸でベッドに腰を掛けた利用者が激しく怒っていた。声をかけると、左眉に傷ができていた。	本人に聞き取りをしたが、原因ははっきりしなかった。おそらく怒り興奮した際に、ベッド前に置かれた本人の車イスにぶつけたと思われた。情緒面からくる不安定さからバランスを崩してしまったのだと推察されるが、引き続き居室内の安全確認と情緒面への配慮をしていく。
居室	情緒不安定な様子で窓の外に私物を投げていた。落ち着くよう対応するが収まらず職員に殴りかかるなどの様子があり、その際にバランスを崩し足元の荷物につまずいて転倒してしまう。	外傷を確認すると、床に打ち付けた左眉上を裂傷してしまっていた。止血・消毒した後で病院に受診。ご家族にも状況説明と謝罪を行っている。情緒不安定時の対応の仕方や居室内の整頓など、担当者も交えて今後の対応を話し合った。
頭真学院	週一回内服する薬の内服を忘れてしまった。	看護師に報告し、翌日に内服するよう指示を受ける。薬の取扱いについて統一した方法を再度確認し、職員会議でも報告を行って周知した。
明照 ホール	活動終了時に帰院するためホール玄関へ利用者を集めていた際、立って待っていた利用者が急に後ろに倒れ込み後頭部を床に打ち付けてしまった。	すぐに看護師に怪我の箇所を確認してもらおう。後頭部はコブになっていたが、本人の意識もしっかりしていて嘔吐等の症状もないため様子を見た。玄関先での混雑状況を鑑みて職員配置についても話し合い、本人の持病など身体状況についても再確認を行った。

## 9. 苦情・要望関係

内 容 ・ 結 果
なし

## 10. ヒヤリ・ハット関係

場 所	内 容
居 室	居室で胃ろうの注入を行っている方の栄養剤が入ったボトルに手を出そうとする利用者がいたが、職員が気づき未然に止めている。
管理棟 廊下	ものぐさ棟へ移動している際、利用者が急に向きを変え笑いながら非常ベルの方へ行こうとした。非常ベルを押そうとしたようだったが、傍にいた職員が止めて移動を促した。
居 室	起床時、自室への出入りをしていた利用者が、胃ろうの注入を行っている方の居室へ行き栄養剤が入ったボトルに手を出そうとしていた。所在確認をした時に気が付き、声をかけて止めている。
明照 ホール	活動中散歩を終えた後も再び散歩へ行きたそうにしていたり、一人でウッドデッキに出ようとするなど外へ興味を示す行動が見られた。支援者間で協力をしながら、見守りや散歩対応などしている。



小食堂	高揚していた利用者が机上に設置したアクリル板に箸を投げつけ、その箸を勢いよく取ろうとした際にアクリル板が倒れそうになった。傍に支援員がいたため防ぎ、安全な位置にアクリル板を移動させた。
小食堂	ポットからお茶を勢い良く汲む利用者に対し、腹を立てた利用者が手を出そうとする。処遇をしていた支援員がすぐに止め、ポットも移動させて対応した。
居室	消灯後、居室から顔を出していた利用者に声をかけ、別の利用者の対応のため少し離れると押し入れの戸を開けるような音が聞こえた。確認するとタンスを動かしたようで引き出しが出ており、壁と引き出しの間で身動きが取れなくなっていた。幸い怪我は無かったが、全体へ周知を行った。

## 11. グループホーム 蓮華寮（共同生活援助）

### ○生活について

前年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により当初の事業計画で策定した内容から変更し、その都度柔軟に対応しながら生活支援を行ってきました。感染症対策は、マスク着用、検温、うがい、手洗い、アルコール消毒の徹底、こまめな換気、蓮華寮内の消毒など、できることを引き続き行っています。帰省・面会も制限しているため、ご家族内の方とも月に1度は電話連絡をして近況報告を行いました。

行事も予定していたものは行えず、蓮華寮内で楽しめる内容に変更して実施しました。顕真学院で採れた野菜を使用して調理を行い、利用者の方にもお手伝いをしてもらい、食べる楽しみの他に参加する楽しみも味わってもらえるような企画にしました。

年齢に伴う機能低下が進み個別に支援が必要な場面が増えているため、バックアップ施設でもある顕真学院に利用者の生活面や医療面、相談内容や支援経過など随時報告し、相互で情報を共有して協力体制を築いています。

### ○行事について ※利用者の誕生月に誕生日会（おやつ作り）

日 時	行 事 名	内 容
令和 4年 8月20日(土)	焼肉パーティー	スタミナをつけて暑い夏を乗り切る
令和 4年12月21日(水)	忘年会	1年を振り返りながら食事をする
令和 5年 1月18日(水)	新年会	新年を祝いながら食事をする

### ○防災訓練について

令和 4年 7月27日(水)	夜間防災訓練 19:00～
令和 4年11月11日(金)	日中防災訓練 14:30～

### ○事故報告

場 所	内 容	事故後の対応
蓮華寮	明け方に起きてきた利用者同士が洗面所で言い合いとなり、押された利用者が転倒してしまった。	室内カメラにて状況を確認した顕真学院の夜勤者が対応に行き、幸い怪我はなかった。明け方の見守りを行う時間を決めバックアップ施設である顕真学院に協力を依頼し、利用者にもルールの再確認を行った。トラブルがあった時や緊急時の対応についても、職員会議で話し合いをしている。

### ○苦情・要望関係

内 容 ・ 結 果
なし

### ○会議関係

ケア会議	令和 4年 4月30日(土) 電話にて
蓮華寮内会議	令和 4年12月20日(火)、令和 5年 3月 7日(火)

### ○通院関係について

定期的な通院（内服薬の処方も含め）⇒歯科・内科等  
風邪等の急な疾病による通院 ※看護師と連携して行いました。

## 12. 日中活動・地域交流棟・家族会館「明照ホール」使用状況

○明照ホール 平日⇒顕真学院の日中活動

休日⇒利用申込4件

- ・発表会のための演奏練習 2件
- ・本覚寺法要のための会議 1件
- ・他施設の日中活動のための利用 1件

○宿泊施設 施設実習生の宿泊先として利用

## 13. 施設整備（契約・購入物品）

- ・調理室後付け玄関の設置  
(食品の検品時における塵などを防ぐため)